

F I R A 2020年 中間会議報告

2020 VIRTUAL MID-YEAR MEETING (オンライン・2020年中間会議)開催

日時:2020年10月14日(水)日本時間21:00~23:00

FIRA(世界小売業協会連合会)2020年中間会議が、世界のコロナ禍の状況により感染症拡大を防止するため初のオンラインでの開催となり、15カ国、23団体が参加した。

ゲストスピーカーには以下の4名がオンラインで登壇し、世界的に新型コロナウイルス感染症拡大の影響についての状況、小売業界の将来の展望などが述べられた。

- VISA北米地区小売部門長=クリス・ベーカー氏
- VISA主席エコノミスト=ウェイン・ベスト氏
- マッキンゼー&カンパニーシニアパートナー=サジャル・コーリ氏
- グローバルショッパー&リテールソリューション=ステファン・ロジャー氏

【講演内容】

◆ゲストスピーカー:サジャル・コーリ氏=マッキンゼー&カンパニー シニアパートナー

テーマ:消費者の大きな混乱~コロナ禍において変わりゆく感情と行動~

- ①多段速度の経営:現状オペレーションと長期的視点の両面での計画の必要性
- ②ビジネスの再イメージネーション化:デジタルと“新しい”利便性の概念が組み込まれた脚本づくり
- ③粒状性(精度):求められることに精度高く対応するためにリアルタイムの洞察力と消費者データの追跡
- ④バーチャルな俊敏性:テクノロジーツールと機能のディスタンスの継続的な再接合
- ⑤自己成長:効率の追求と消費シフトによる投資の回復

◆ゲストスピーカー:ステファン・ロジャー氏=グローバルショッパー&リテールソリューション

テーマ: Covid-19は世界の日用品と小売業にどう影響する



か

①Covid-19の日用品に与えるインパクト

- ロックダウン後は+17%(5月まで)の例外的な成長と8月までの四半期の数字にも突出した伸長
- ディスカウンターが苦戦しているのに対して、Eコマースは大勝利
- Eコマースはすべての年代に対して、特に65歳以上での伸びが堅調
- 増加した数量は成長の大きな要因だが、これは継続的なものか?

②将来へのシナリオ

- 失業率は2~7%で消費への影響あり
- 世界的にPB(プライベートレーベル)の拡大
- ロックダウン後のEコマースの業績=英国+92%、フランス+43%、中国+44%、スペイン+77%、ラテン+200%
- Eコマースはいくつかの部門ではサブスクリプションの傾向が強くなる

③小売業はCovid-19にどう打ち勝つか=“失業”と“ディスタンス(距離感)”の2つのワードが日用品と小売業を再定義する

<消費者需要>

- 価格と販売戦略の見直し
- PBの定着による利幅の増加
- 都会のミレニアム世代から地方のシニアまでがターゲット層

<競争>

- デジタルは当然の選択肢
- 調理済み食品と宅配
- ディスカウンターのEコマースへの移行

